

科目名	アパレルデザインII				
担当教員	渡邊 津多子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 大学併修ファッション科 コスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 発想力を学ぶ 2. デザイン力を身につける 3. D画 画力・表現力の向上				
学習目標 (到達目標)	デザイン発想力や想像力を高めデザイン画コンテスト入選を目指す。コンセプトからの素材見本作りなどデザイン表現のクオリティーを高める。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	2時間で模写 写真から模写し描く着彩	1年次の復習。おさらい。			
2	メンズ・子供服	メンズと子供服について			
3	D画 発想 ジャポニズム	日本からの発想。コラージュしたものを基にデザイン画を描く			
4	D画 発想 絵画からの発想と着彩	絵画をモチーフにし絵画の色を使い着彩。着彩の幅を広げる			
5	D画 発想 デニム	素材の表現。デニム素材を使用したD画。必ずデニムを表現する。			
6	D画 発想 映画からのデザイン	様々な年代の映画衣装を参考にし映画の登場人物の衣装をデザインする。			
7	D画 発想 企業用のD画 トレンド	春夏トレンドのマップをコラージュで作成デザインソースを作る			
8	D画 発想 企業用のD画 トレンド	春夏トレンドのマップを基に企業・就職活動用のD画を描く。			
9	D画 発想 民族衣装	世界の民族衣装をモチーフにコラージュを作成しD画を描く			
10	D画 発想 ミリタリー	ミリタリーをテーマにコラージュを作成しD画を描く			
11	D画 発想 建築物	建築物の外観や作りなどを参考に洋服のデザインに落とし込む			
12	D画 発想 ドレープ	ドレープを利用したデザインを考え作成する			
13	D画 発想 構造	世の中の様々な構造からアイデアを発送しデザインする。			
14	D画 発想 自然	自然界にある植物や動物昆虫など自然界の中にあるモチーフを決めデザインする			
15	D画 発想 アート	様々なアートの手法をモチーフに洋服のデザインに落とし込む。D画にして表現			
16	デザイン画 着彩指導 水彩1	水彩着彩の復習1			
17	デザイン画 着彩指導 水彩2	水彩着彩の復習2			
18	仕上げ方法・コラージュの方法1	デザイン画仕上げの方法の色々とコラージュ指導			
19	仕上げ方法・コラージュの方法2	デザイン画仕上げの方法の色々とコラージュ指導			
20	仕上げ方法・コラージュの方法3	デザイン画仕上げの方法の色々とコラージュ指導			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。			
実務経験教員の経歴	アパレル業10年、教員歴21年				

科目名	アパレルデザインII				
担当教員	渡邊 津多子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 発想力を学ぶ 2. デザイン力を身につける 3. D画 画力・表現力の向上 4. 素材をデザイン画に落とし込む				
学習目標 (到達目標)	デザインの発想力や想像力を高めデザイン画コンテスト入選を目指す。コンセプトからの素材見本作りなどデザイン表現のクオリティーを高める。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	素材を作る1 (スラッシュキルト)		スラッシュキルトを作成してみる		
2	素材を使用したデザイン画1		スラッシュキルトを使用したデザイン画を描く		
3	素材を作る2 (フェルトを作る)		原毛からフェルトを作ってみる		
4	素材を使用したデザイン画2		フェルトを使いデザインしてみる		
5	素材を作る3 (タックを作る)		タックを使用し様々な素材を作る		
6	素材を使用したデザイン画3		タックを使用しデザイン画を描いてみる		
7	就職活動用デザイン画指導ポートフォリオ作り1		A/Wのトレンドを作成		
8	就職活動用デザイン画指導ポートフォリオ作り2		テキストイルマップ・カラーマップ作り		
9	就職活動用デザイン画指導ポートフォリオ作り3		カラーマップ作りデザイン出し		
10	就職用デザイン画作成		就職活動用に企業に合わせたデザイン画を描く		
11	就職用デザイン画作成		就職活動用に企業に合わせたデザイン画を描く		
12	就職用デザイン画作成		就職活動用に企業に合わせたデザイン画を描く		
13	市場トレンドについてコレクション分析しデザイン画		市場トレンド分析の方法の指導・コレクショントレンド分析しデザイン画にする		
14	市場トレンドについてコレクション分析しデザイン画		市場トレンド分析の方法の指導・コレクショントレンド分析しデザイン画にする		
15	市場トレンドについてコレクション分析しデザイン画		市場トレンド分析の方法の指導・コレクショントレンド分析しデザイン画にする		
16	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画1枚作成		
17	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画1枚作成		
18	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画1枚作成		
19	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画1枚作成		
20	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画1枚作成		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。			
実務経験教員の経歴	アパレル業10年、教員歴21年				

科目名	アパレル実習Ⅱ				
担当教員	関谷 友子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	120時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	裏付きジャケットの縫製を学び、型紙は裏地展開、縫い代付けまで行う。				
学習目標 (到達目標)	裏付きジャケット・箱ポケットの縫製方法を学習。ベンツ/二枚袖などより高度な技術を習得。アパ企と連動しデザイン・ディテール・素材へデザイン要素を取り入れる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ジャケット・ベスト、コート・ケープ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	裏付きジャケット講義、基本パターン配布		ジャケット・ベストP60、61		
2	裏地パターン製作、縫い代付け		ジャケット・ベスト教科書使用		
3	ジャケット製作（マーキング、裁断）		P62～68		
4	ジャケット製作（マーキング、裁断）		P62～68		
5	ジャケット製作（芯貼り、ロック）		P69、P73		
6	ジャケット製作（パーツ作り）		P69、P73		
7	ジャケット製作（パーツ作り）		P69、P73		
8	ジャケット製作（パーツ作り）		P69、P73		
9	ジャケット製作（肩脇入れ、衿付け）		P74～77		
10	ジャケット製作（裏地パーツ作り）		P78～80		
11	ジャケット製作（身頃合わせ）		P81		
12	ジャケット製作（身頃合わせ）		P81		
13	ジャケット製作（後ベンツ作り）		P153～158		
14	ジャケット製作（後ベンツ作り）		P153～158		
15	ジャケット製作（袖付け、衿綿付け）		P85～87		
16	ジャケット製作（肩バット付け、裏袖付け）		P85～87		
17	ジャケット製作（肩バット付け、裏袖付け）		P85～87		
18	ジャケット製作（とじ、星止め）		P91		
19	ジャケット製作（ホール、釦付け）		P91		
20	まとめ、提出		P91		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
裏付きジャケット100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧に言う事。		
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	アパレル実習Ⅱ				
担当教員	関谷 友子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	120時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	裏付きコートの縫製を学び、型紙は裏地展開、縫い代付けまで行う。				
学習目標 (到達目標)	裏付きジャケット・箱ポケットの縫製方法を学習。ベント、二枚袖などより高度な技術を習得。アパ企と連動しデザイン・ディテール・素材ヘデザイン要素を取り入れる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	コート・ケープ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	裏付きコート講義、基本パターン配布		コート・ケープP16		
2	裏地パターン製作		P90～91		
3	裏地パターン製作、縫い代付け		P90～91		
4	コート製作（マーキング、裁断）		P96		
5	コート製作（芯貼り、ロック）		P93～94、P97～98		
6	コート製作（芯貼り、ロック）		P93～94、P97～98		
7	コート製作（パーツ作り）		P99～100		
8	コート製作（パーツ作り）		P99～100		
9	コート製作（肩脇入れ、衿付け）		P99～100		
10	コート製作（肩脇入れ、衿付け）		P99～100		
11	コート製作（裏地パーツ作り）		P101～102		
12	コート製作（裏地パーツ作り）		P101～102		
13	コート製作（身頃合わせ）		P103		
14	コート製作（後ベント作り）		ジャケット教科書P153～158参照		
15	コート製作（後ベント作り）		ジャケット教科書P153～158参照		
16	コート製作（袖付け、衿綿付け、肩パット付け）		P109～111		
17	コート製作（袖付け、衿綿付け、肩パット付け）		P109～111		
18	コート製作（裏袖付け、とじ）		P114～115		
19	コート製作（裾まつり、ホール、釦付け）		P105、P108		
20	まとめ、提出		P105、P108		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
裏付きコート100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧にを行う事。		
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	アパレル企画Ⅰ				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.オリジナルブランドの立案 2.ポートフォリオ作成のノウハウ				
学習目標 (到達目標)	オリジナルブランドの立案とリアルクローズでの商品展開・デザイン力を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe creative cloud				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入・ポートフォリオとは・コンセプトとは		Adobe creative cloudインストール		
2	ポートフォリオ構成講義		見本を見ながらポイント解説		
3	コンセプトワーク		ビジュアル表現・レイアウト		
4	ブランド名		ブランド名の考え方・ロゴ・アイコンについて		
5	ターゲット設定		ターゲットの決め方とリサーチ・マーケティングとは		
6	コンセプトとターゲットの整合性		プレゼンテーション		
7	シーズンテーマ・トレンド分析		東京リサーチ		
8	シーズンテーマ2019SS		トレンド分析発表		
9	カラー素材・ディティール		ブランドカラーとシーズンテーマに沿った素材の決定		
10	アイテム構成		マーチャンダイジング理論に則ったアイテム構成比の算出方法		
11	デザイン発想		コンセプトに沿ったデザインの発送方法と表現方法		
12	デザインチェック		チェックと修正		
13	デザイン画表現①		デザイン画の表現方法・着彩方法		
14	デザイン画表現②		デザイン画の表現方法・着彩方法		
15	コレクションワーク①		コレクションルックとして展開表現講義		
16	コレクションワーク②		コレクションルックとして展開表現講義		
17	ポートフォリオレイアウト①		レイアウトのテクニック・文字		
18	ポートフォリオレイアウト②		レイアウトのテクニック・画像		
19	ポートフォリオレイアウト③		レイアウトのテクニック・ページ構成		
20	プレゼンテーション		企画書の発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：ポートフォリオ/デザイン画 企画書の完成度40%、デザイン画のクオリティ40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			コンセプトワークを理解し、独自性がありかつ、共有性のあるブランドを立案すること。課題は全て提出し、こたわって制作すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	アパレル企画Ⅰ				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、授業の進め方	1.オリジナルブランドを元にテキスタイルのデザイン 2.オリジナルのデザイン・パターン・素材の追求 3.プレゼンテーション能力の向上				
学習目標 (到達目標)	前期で立案したブランドを元に各自でデザインなどを追求し、プレゼンテーションで伝える力を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe cleative cloud				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	プレゼンテーションワーク		プレゼンテーションのノウハウ・話し方		
2	プレゼンテーションワーク		プレゼンテーション練習		
3	プレゼンテーション本番①		プレゼンテーション審査①		
4	プレゼンテーション本番①		プレゼンテーション審査②		
5	テキスタイルデザイン		テキスタイルデザイン・レポートの付け方		
6	テキスタイルデザイン		テキスタイルデザインの応用		
7	デザイン研究・掘り下げ		サンプル説明・掘り下げテーマ設定		
8	デザインラフチェック①		ラフデザイン10体		
9	デザインラフチェック①		ラフデザイン10体		
10	デザインラフチェック②		ラフデザイン10体		
11	デザインラフチェック②		ラフデザイン10体		
12	デジタルデザイン画①		イラストレーターを使用したデザインテクニック		
13	デジタルデザイン画②		イラストレーターを使用したデザインテクニック		
14	デジタルデザイン画③		フォトショップを使用したデザインテクニック		
15	デジタルデザイン画④		フォトショップを使用したデザインテクニック		
16	ポートフォリオ表現①		レイアウト・ページ構成		
17	ポートフォリオ表現②		レイアウト・ページ構成		
18	ポートフォリオ表現③		最終デザイン画5体		
19	最終プレゼンテーション		プレゼンテーション審査		
20	作品評価・講評		発表と講評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：ポートフォリオ/デザイン画 企画書の完成度40%、デザイン画のクオリティ40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			コンセプトワークを理解し、独自性がありかつ、共有性のあるブランドを立案すること。課題は全て提出し、こたわって制作すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	ドレーピング I				
担当教員	金房 洋子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	地直し、アイロンテクニック、シーチング操作を学び、ドラフティングから工業用まで縫い代付けパターンを習得する。				
学習目標 (到達目標)	トワルの組み方から、ピンワーク・ドレーピングの基礎を学習する。着地はシャツ/ブラウス/スカート				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	立体裁断				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入、ライン入れ、ボディ採寸		P10～40		
2	地直し		P41		
3	地直しテスト		P41		
4	ピンの打ち方、原形ドレーピング		P38		
5	ピンの打ち方、原形ドレーピング		P38		
6	ドラフティング		P46		
7	ドラフティング		P46		
8	ドラフティング		P46		
9	ドラフティング、生地準備		地直し注意		
10	シャツカラー		P79		
11	シャツカラー		P79		
12	シャツカラー		P79		
13	袖付け方		P81		
14	袖付け方		P81		
15	袖付け方		P81		
16	生地準備		地直し注意		
17	フレアスカート		P106～123		
18	フレアスカート		P106～123		
19	フレアスカート		P106～123		
20	スカートまとめ		ボディに着せ付け提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	パタンナーとしてメーカーで6年、独立して26年係わっている				

科目名	ドレーピング I				
担当教員	金房 洋子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	地直し、アイロンテクニック、シーチング操作を学び、ドラフティングから工業用まで縫い代付けパターンを習得する。				
学習目標 (到達目標)	トワルの組み方から、ピンワーク・ドレーピングの基礎を学習する。着地はシャツ/ブラウス/スカート				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	立体裁断				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テーラードジャケットA作図、身頃		P179～191		
2	テーラードジャケットA作図、袖		P179～191		
3	テーラードジャケットA作図、衿		P179～191		
4	テーラードジャケットA作図、トワル		P179～191		
5	テーラードジャケットA作図、トワル		P179～191		
6	テーラードジャケットA作図、組立て		P179～191		
7	テーラードジャケットA作図、組立て		P179～191		
8	テーラードジャケットA作図、作図展開		P179～191		
9	テーラードジャケットA作図、作図展開		P179～191		
10	テーラードジャケットB作図、身頃		P200～208		
11	テーラードジャケットB作図、身頃		P200～208		
12	テーラードジャケットB作図、袖		P200～208		
13	テーラードジャケットB作図、衿		P200～208		
14	テーラードジャケットB作図、トワル		P200～208		
15	テーラードジャケットB作図、トワル		P200～208		
16	テーラードジャケットB作図、組立て		P200～208		
17	テーラードジャケットB作図、作図展開		P200～208		
18	提出、生地準備		地直し注意		
19	ジャケットテスト		AかBを出題		
20	まとめ		トワルに着せ付け提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	パタンナーとしてメーカーで6年、独立して26年係わっている				

科目名	パターンⅡ				
担当教員	関谷 友子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、コート製図 2、コートバリエーション、裏地展開 3、ノートをファイリングし提出する。				
学習目標 (到達目標)	ジャケット、コート、ドレスワンピースなどの作図を習得すつことで更に力の向上を図る。またPM検定、技術検定対策も含める。パターンの入力から、CADパターンメイキング、縫代付け、グレーディング、マーキングまでを実習する。合同にして実寸の集中とCADの集中を就活に合わせ組めるようにする				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ジャケット・ベスト、コート・ケープ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ストレートシルエットコート作図		コート・ケープP21～24		
2	ストレートシルエットコート作図、袖裏		コート・ケープP95		
3	ストレートシルエットコート作図、袖裏		コート・ケープP95		
4	ラグランスリーブコート作図		コート・ケープP25～31		
5	ラグランスリーブコート作図		コート・ケープP25～31		
6	ラグランスリーブコート作図		コート・ケープP25～31実寸		
7	ルダングト作図		コート・ケープP32～34実寸		
8	ルダングト作図		コート・ケープP32～34		
9	ルダングト作図		コート・ケープP32～34実寸		
10	ルダングト作図		コート・ケープP32～34実寸		
11	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42		
12	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42		
13	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42実寸		
14	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42実寸		
15	トレンチコート作図		コート・ケープP39～42実寸		
16	ダッフルコート作図		コート・ケープP47～49		
17	ダッフルコート作図		コート・ケープP47～49		
18	フード付き作図		コート・ケープP69～72		
19	フード付き作図		コート・ケープP69～72		
20	復習		ノートをまとめて提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ノート提出40%、試験60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

科目名	パターンⅡ				
担当教員	関谷 友子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、各アイテムバリエーション製図 2、2ndパターン、工業用パターンの習得 3、ノートをファイリングし提出する。				
学習目標 (到達目標)	ジャケット、コート、ドレスワンピースなどの作図を習得すつことで更に力の向上を図る。またPM検定、技術検定対策も含める。パターンの入力から、CADパターンメイキング、縫代付け、グレーディング、マーキングまでを実習する。合同にして実寸の集中とCADの集中を就活に合わせ組めるようにする				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ジャケット・ベスト、オリジナル絵型プリント配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前期復習		作図指示（前期作図した中から）		
2	ジャケット作図		ジャケット・ベストP24～27		
3	2ndパターン作図		ジャケット・ベストP58～61		
4	2ndパターン作図		ジャケット・ベストP58～61		
5	2ndパターン作図		ジャケット・ベストP58～61		
6	裏地展開方法（衿、袖裏）		ジャケット・ベストP58～61		
7	裏地展開方法（衿、袖裏）		ジャケット・ベストP58～61		
8	裏地展開方法（衿、袖裏）		ジャケット・ベストP58～61		
9	マーキング説明（無地、柄）		ジャケット・ベストP62～66		
10	マーキング説明（無地、柄）		ジャケット・ベストP62～66		
11	絵型からのパターン作図①ブルゾン		絵型配布①		
12	絵型からのパターン作図①ブルゾン		絵型配布①		
13	絵型からのパターン作図②ワンピース		絵型配布②		
14	絵型からのパターン作図②ワンピース		絵型配布②		
15	絵型からのパターン作図③ジャケット		絵型配布③		
16	絵型からのパターン作図③ジャケット		絵型配布③		
17	オリジナルデザイン作図		各自ハンガーイラスト作成		
18	オリジナルデザイン作図、2ndパターン		縫い代付けまでして提出		
19	オリジナルデザイン作図、2ndパターン		縫い代付けまでして提出		
20	復習		ノートをまとめて提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ノート提出40%、試験60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 ブランドプロデュース科、 ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	紹介① 友達などの紹介のしかた		プリント1		
2	紹介② 性格と主張		プリント2		
3	紹介		ワークシート1 (紹介)		
4	単数、複数		プリント3		
5	単数、複数		ワークシート2 (単数)、会話		
6	単数、複数		ワークシート2 (複数)、会話		
7	衣服① 名称、色		プリント4		
8	衣服① 名称、色		ワークシート3 (衣服の名称)		
9	衣服① 名称、色		ワークシート4 (衣服の名称)		
10	衣服② 動詞、形容詞		プリント5		
11	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート5 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
12	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート6 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
13	衣服③ 形容詞		プリント6、会話		
14	衣服③ 形容詞		プリント7		
15	衣服③ 形容詞		プリント8		
16	衣服③ 形容詞		文章作成		
17	衣服③ 形容詞		復習、会話		
18	復習		ワークシート7		
19	復習		ワークシート8		
20	まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 ブランドプロデュース科、 ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前置詞		プリント9、リスニング		
2	前置詞		プリント9、会話		
3	前置詞		ワークシート9 (文章作成)		
4	前置詞		ワークシート10		
5	前置詞		ワークシート11 (文章作成)		
6	服のお直しのための英語		プリント10、会話		
7	服のお直しのための英語		ワークシート12		
8	服のお直しのための英語		ワークシート12 (文章作成)		
9	服を販売するときの英語		ワークシート13 (会話)		
10	服を販売するときの英語		プリント11		
11	服を販売するときの英語		ワークシート13 (文章作成)		
12	裁縫道具等の英語		プリント12		
13	裁縫道具等の英語		プリント12 (会話)		
14	裁縫道具等の英語		ワークシート14 (文章作成)		
15	復習		ワークシート15		
16	復習		ワークシート16		
17	総復習		ワークシート1~8		
18	総復習		ワークシート9~16		
19	まとめ		後期まとめ		
20	まとめ		総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

科目名	パターンメイキング検定対策				
担当教員	松田 百代	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッション造形知識・技術とパターンメイキングに関する基礎知識技術を習得し、パターンメーカーとしての基礎的な実技能力を習得する。				
学習目標 (到達目標)	パターンメイキング検定3級取得を目指す。(試験日12/12)				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	PM技術検定試験3級ガイドブック、パターンメイキング技術試験3級試験問題解答・解説集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	検定意識付け				
2	理論		PM技術検定試験3級ガイドブックP24～57		
3	理論		PM技術検定試験3級ガイドブックP60～75		
4	理論		PM技術検定試験3級ガイドブックP60～75		
5	理論(身頃)		PM技術検定試験3級ガイドブックP76～99		
6	理論(身頃)		PM技術検定試験3級ガイドブックP76～99		
7	理論(袖)		PM技術検定試験3級ガイドブックP100～109		
8	理論(袖)		PM技術検定試験3級ガイドブックP100～109		
9	理論(スカート)		PM技術検定試験3級ガイドブックP110～119		
10	理論(スカート)		PM技術検定試験3級ガイドブックP110～119		
11	理論(工業用)		PM技術検定試験3級ガイドブックP160～183		
12	理論(工業用)		PM技術検定試験3級ガイドブックP160～183		
13	理論(縫い代)		PM技術検定試験3級ガイドブックP184～197		
14	理論(縫い代)		PM技術検定試験3級ガイドブックP184～197		
15	理論(グレーディング)		PM技術検定試験3級ガイドブックP220～251		
16	理論(グレーディング)		PM技術検定試験3級ガイドブックP220～251		
17	理論テスト		プリント配布		
18	理論テスト		プリント配布		
19	理論テスト		プリント配布		
20	理論テスト		プリント配布		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題40%、試験60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			繰り返し問題を解き、復習をしっかりとしておく。		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	パターンメイキング検定対策				
担当教員	松田 百代		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッション造形知識・技術とパターンメイキングに関する基礎知識技術を習得し、パターンメーカーとしての基礎的な実技能力を習得する。				
学習目標 (到達目標)	パターンメイキング検定3級取得を目指す。(試験日12/12)				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	PM技術検定試験3級ガイドブック、パターンメイキング技術試験3級試験問題解答・解説集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	作図①		過去問題①配布		
2	作図①、生地準備		過去問題①配布		
3	実技①		トワルに着せ付け提出		
4	作図②		過去問題②配布		
5	作図②、生地準備		過去問題②配布		
6	実技②		トワルに着せ付け提出		
7	作図①		模擬テスト①		
8	実技①		トワルに着せ付け提出		
9	作図②		模擬テスト②		
10	実技②		トワルに着せ付け提出		
11	実技①		トワルに着せ付け提出		
12	生地準備		しっかりときちんと準備する。		
13	生産管理について講義		プリント配布		
14	仕様書作成 (シャツA)		仕様書配布		
15	仕様書作成 (パンツA)		仕様書配布		
16	仕様書作成 (ジャケットA)		仕様書配布		
17	仕様書作成 (シャツB)		仕様書配布		
18	仕様書作成 (パンツB)		仕様書配布		
19	仕様書作成 (ジャケットA)		仕様書配布		
20	仕様書作成 (オリジナル)		仕様書配布		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			事前準備をしっかりと行うこと。特に生地準備は丁寧に、きちんと地直しをしておくこと。		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	3DCG・CAD II				
担当教員	松田 百代	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	3DCGCLOの基本操作 素材、付属作成からアイテムの3DCG作成 レンダリング、アニメーション方法				
学習目標 (到達目標)	3Dモデリスト3級レベルの技術習得を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入・画面マウス操作説明		資料配布		
2	基本操作		資料配布		
3	復習		復習		
4	オブジェクトブラウザ各種		資料配布		
5	2D画面パターン編集		資料配布		
6	復習		復習		
7	3D画面編集・シミュレーション		資料配布		
8	法線と圧力の説明		資料配布		
9	復習		復習		
10	ファイル各種説明		資料配布		
11	2D画面パターン作成方法		資料配布		
12	復習		復習		
13	2Dパターン配置		資料配布		
14	3Dペン操作		資料配布		
15	復習		復習		
16	前期テスト説明		テスト範囲説明、復習		
17	スケッチ/パッカリング/グラフィック設定		資料配布		
18	スケッチ/パッカリング/グラフィック設定		資料配布		
19	まとめ		前期まとめ		
20	まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
前期テスト100%評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			手順を間違えずに効率よく進め、細かい部分までしっかりと確認し進めることが重要。 また保存方法などにも十分注意しておく事。		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	3DCG・CAD II				
担当教員	松田 百代	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	3 DCGCLOの基本操作 素材、付属作成からアイテムの3 DCG作成 レンダリング、アニメーション方法				
学習目標 (到達目標)	3Dモデリスト3級レベルの技術習得を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ブリーツの設定		資料配布		
2	ボタン/副資材の設定		資料配布		
3	復習		復習		
4	衿の返り線方法		資料配布		
5	圧力の実践		資料配布		
6	切替線の作成		資料配布		
7	復習		復習		
8	内部線・衣装完成度		資料配布		
9	内部線・衣装完成度		資料配布		
10	ファスナー・バイピング		資料配布		
11	復習		復習		
12	附属・レンダリング		資料配布		
13	附属・レンダリング		資料配布		
14	レイアウト/配色		資料配布		
15	復習		復習		
16	後期テスト説明		テスト範囲説明、復習		
17	アニメーションの方法・ディスカッション		資料配布		
18	復習		復習		
19	まとめ		後期まとめ		
20	まとめ		後期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
前期テスト100%評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			手順を間違えずに効率よく進め、細かい部分までしっかりと確認し進めることが重要。 また保存方法などにも十分注意しておく事。		
実務経験教員の経歴	CADオペレーター、現場班長として縫製現場において10年間関わっていた。				

科目名	就職実務 II				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	×		
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来る自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自己PR文章作成 1		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
2	自己PR文章作成 2		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
3	自己PR文章作成 3		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
4	GD対策 1		GD対策授業面接練習		
5	GD対策 2		GD対策授業面接練習		
6	GD対策 3		GD対策授業面接練習		
7	グループ面接対策 1		グループ面接実践		
8	グループ面接対策 2		グループ面接実践		
9	グループ面接対策 3		グループ面接実践		
10	グループ面接対策 4		グループ面接実践		
11	メールのマナー・添え状・お礼状など		メールでの文章作成の基本。添え状テンプレ作成		
12	企業リストアップ 1		企業研究を深め企業を絞り込む		
13	企業リストアップ 2		企業研究を深め企業を絞り込む		
14	適性検査の基本		適性検査について評価のポイント		
15	SPA対策		SPA試験対策指導		
16	社会人マナー検定対策 1		社会人常識マナー検定対策授業		
17	社会人マナー検定対策 2		社会人常識マナー検定対策授業		
18	社会人マナー検定対策 3		社会人常識マナー検定対策授業		
19	社会人マナー検定対策 4		社会人常識マナー検定対策授業		
20	社会人マナー検定対策 5		社会人常識マナー検定対策授業		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		特になし			
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	就職実務 II				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者／他課題制作授業	未内定者／個別指導	内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	産学連携プログラム				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	伊勢丹×NITF×五泉ニット企業との連携で、NITFオリジナルブランドの企画～販売を実施する。				
学習目標 (到達目標)	オリジナルブランドの企画から製造・プロモーション・販売を行い、実践的なブランド運営を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特に無し				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品の振り返り		昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方		
2	商品の振り返り		昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方		
3	商品の振り返り		昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方		
4	商品の振り返り		昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方		
5	次年度のデザイン検討会		2020年度秋冬企画		
6	次年度のデザイン検討会		2020年度秋冬企画		
7	次年度のデザイン検討会		2020年度秋冬企画		
8	次年度のデザイン検討会		2020年度秋冬企画		
9	素材選定・色検討		サンプル生地手配		
10	素材選定・色検討		サンプル生地手配		
11	素材選定・色検討		サンプル生地手配		
12	素材選定・色検討		サンプル生地手配		
13	素材選定・色検討		サンプル生地手配		
14	デザイン画ミーティング・提出		アイテム別デザイン出し		
15	デザイン画ミーティング・提出		アイテム別デザイン出し		
16	デザイン画ミーティング・提出		アイテム別デザイン出し		
17	デザイン決定		アイテム別デザイン・素材決定		
18	デザイン決定		アイテム別デザイン・素材決定		
19	デザイン決定		アイテム別デザイン・素材決定		
20	デザイン決定		アイテム別デザイン・素材決定		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特に無し		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名		産学連携プログラム						
担当教員		神戸 悠太		実務授業の有無		○		
対象学科		ファッションデザイン科	対象学年		2	開講時期		後期
必修・選択		必修	単位数		1	時間数		20時間
授業形態		対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業			
授業概要、目的、授業の進め方		伊勢丹×NITF×五泉ニット企業との連携で、NITFオリジナルブランドの企画～販売を実施する。						
学習目標 (到達目標)		オリジナルブランドの企画から製造・プロモーション・販売を行い、実践的なブランド運営を学ぶ。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料		特に無し						
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考			
1	商品の振り返り				昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方			
2	商品の振り返り				昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方			
3	商品の振り返り				昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方			
4	商品の振り返り				昨年の製品を検討し、デザイン・色・値段・接客対応の仕方			
5	次年度のデザイン検討会				2020年度秋冬企画			
6	次年度のデザイン検討会				2020年度秋冬企画			
7	次年度のデザイン検討会				2020年度秋冬企画			
8	次年度のデザイン検討会				2020年度秋冬企画			
9	素材選定・色検討				サンプル生地手配			
10	素材選定・色検討				サンプル生地手配			
11	素材選定・色検討				サンプル生地手配			
12	素材選定・色検討				サンプル生地手配			
13	素材選定・色検討				サンプル生地手配			
14	デザイン画ミーティング・提出				アイテム別デザイン出し			
15	デザイン画ミーティング・提出				アイテム別デザイン出し			
16	デザイン画ミーティング・提出				アイテム別デザイン出し			
17	デザイン決定				アイテム別デザイン・素材決定			
18	デザイン決定				アイテム別デザイン・素材決定			
19	デザイン決定				アイテム別デザイン・素材決定			
20	デザイン決定				アイテム別デザイン・素材決定			
評価方法・成績評価基準					履修上の注意			
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					特に無し			
実務経験教員の経歴		オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた						